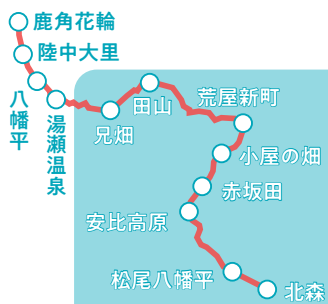




J R 花輪線

十和田八幡平 四季彩ラインを 楽しもう

サイクルトレイン利用可能列車 時刻表

下り	駅名	時刻	上り	駅名	時刻
	北森	発 13:20		鹿角花輪	発 14:32
	松尾八幡平	発 13:23		陸中大里	発 14:36
	安比高原	発 13:35		八幡平	発 14:40
	赤坂田	発 13:41		湯瀬温泉	発 14:46
	小屋の畑	発 13:45		兄畑	発 14:51
	荒屋新町	発 13:50		田山	発 14:59
	田山	発 14:05		荒屋新町	発 15:13
	兄畑	発 14:13		小屋の畑	発 15:19
	湯瀬温泉	発 14:18		赤坂田	発 15:24
	八幡平	発 14:24		安比高原	発 15:31
	陸中大里	発 14:27		松尾八幡平	発 15:40
	鹿角花輪	着 14:31		北森	着 15:43

J R 花輪線サイクルトレインは北森駅から鹿角花輪駅間でのみ利用できます(横間駅は乗車・降車どちらもできません)。1運行につき10人までで、スポーツタイプの自転車に限りません。

J R 花輪線と自転車で十和田八幡平四季彩ラインの魅力を見つけに行きませんか。

実施
期間

10月31日(木)まで

要予約

！ まずは事前予約を

JR 花輪線サイクルトレインを利用するには事前予約が必要です。

ウェブサイトで注意事項などを確認の上、予約してください。



予約はこちら

モデルコースを紹介

七時雨カルデララインコース (約43km)

北森駅駐車場から自転車で出発。安代地区を巡り、小屋の畑駅で列車に乗り戻ってくるコースです。

10:00 北森駅の駐車場でサイクリングスタート

北森駅駐車場に自家用車を止められます。

七時雨山田代平登山口駐車場 (11:40ごろ)

ランチ休憩

いわてサイクルステーション 麴屋もとみや (12:30ごろ)



いわてサイクルステーション ふうせつ花 (14:10ごろ)



不動の滝 (13:30ごろ)



小屋の畑駅 (15:19発)



北森駅 (15:43着)



安全運転で楽しみましょう

鹿角・盛岡広域エリアの飲食店や観光施設などを巡るスタンプリーです。スタンプリーに応じた地域の特産品が当たるプレゼント企画も行います。

開催期限
6年11月4日



詳しくはこちら

観光デジタル
スタンプリー

応募期限
令和7年1月10日(金)



詳しくはこちら

J R 花輪線私の
お気に入りの1枚



花輪線利用促進協議会は、花輪線沿線エリアの魅力を生かした花輪線の利用を促進するため、次の取り組みも行っています。

C Y C L E X T R A I N

北森駅から鹿角花輪駅間で10月末まで

自転車を解体せず、そのまま列車内に



J R 花輪線 サイクルトレイン

実証実験を開始

利用促進のための取り組み

J R 花輪線沿線の5市(本市、鹿角市、滝沢市、盛岡市、大館市)、J R 東日本などで構成する花輪線利用促進協議会は、10月1日から31日までサイクルトレインの実証実験を始めた。

これは、花輪線沿線エリアのサイクリングを通して地域の魅力を体験・発掘し、花輪線の利用促進につなげようとする試みです。

協議会では5月29日、サイクルトレイン運行のための安全確認を行いました。

列車内にロードバイクなどさまざまな自転車を積み込み、車内スペースの確認や乗車・降車時間などをシミュレーション。さまざまなシチュエーションで運行の安全性を確認しました。



花輪線で初めての試み

これまで、自転車を車内に持ち込む際には、自転車を分解し、輪行バックと呼ばれる収納袋に格納したうえで乗車することとされてきました。

今回、実証実験を行うサイクルトレインは、分解などを行わずに、列車内に自転車を積み込むことができるサービスで、J R 花輪線の駅を利用し、一般参加者に向けて行う形でのサイクルトレインの実施は初めてとなります。

自転車ブームを追い風に

コロナ禍における生活スタイルの変化を要因に始まったひとり旅やキャンプ、自転車ブームは、今後も続くことが見込まれています。

国では、海外の例も紹介しながら、自治体のほか鉄道やバス事業者などに向け、沿線地域と連携し、サイクルトレインやサイクルバスの導入・拡大・普及に取り組んでいます。

実験結果を次につなげる

今回の取り組みは、花輪線の利用促進、観光誘客、地域の

おはなし



東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社企画総務部
松野 文一 さん

今回の実証実験は、花輪線利用促進協議会とJ R 東日本が協力することで実施することができました。

列車へ自転車の持ち込みが可能となったことにより、これまで以上に行動範囲が広がり、新たなツアー企画ができると考えています。実証実験の期間は、紅葉シーズンとも重なるので、この機会に花輪線沿線の魅力を幅広く満喫していただければと思います。

連携強化の3点を目標に掲げて行います。協議会では実証実験の結果を踏まえ、観光客の増加など、新たな展開につながるよう、取り組みを進めます。